平成 26 年度 内閣府 沖縄総合事務局 総務部 跡地 利用 対策 課 委託業務

# 平成26年度 駐留軍用地跡地利用に関する市町村支援業務 (アドバイザー派遣等業務)

報告書(概要版)

平成27年3月

**玉野総合コンサルタント(株)** 

# 目 次

第1章	事業の経緯及び今年度の事業概要	
1 - 1	事業の経緯	1
	今年度の事業概要	
第2章	跡地関係市町村の検討課題の把握等	
2-1	市町村個別訪問の概要	25
	第1回市町村個別訪問	
	第2回市町村個別訪問	
第3章	駐留軍用地跡地利用推進懇談会	
3-1	駐留軍用地跡地利用推進懇談会の概要	31
	第1回駐留軍用地跡地利用推進懇談会	
	第2回駐留軍用地跡地利用推進懇談会	
第4章	跡地関係市町村連絡会議	
	<b>跡地関係市町村連絡会議</b> 跡地関係市町村連絡会議の概要	35
4 - 1		
4-1 4-2	跡地関係市町村連絡会議の概要	
4-1 4-2 <b>第5章</b>	跡地関係市町村連絡会議の概要 ······· 跡地関係市町村連絡会議····································	36
4-1 4-2 <b>第5章</b> 5-1	跡地関係市町村連絡会議の概要 跡地関係市町村連絡会議 跡地関係市町村個別会議	36
4-1 4-2 <b>第5章</b> 5-1 5-2	跡地関係市町村連絡会議の概要 跡地関係市町村連絡会議 <b>跡地関係市町村個別会議</b> 跡地関係市町村個別会議の概要	36 39 40
4-1 4-2 <b>第5章</b> 5-1 5-2 5-3	跡地関係市町村連絡会議の概要 跡地関係市町村個別会議 跡地関係市町村個別会議 跡地関係市町村個別会議の概要 第1回跡地関係市町村個別会議。	36 39 40
4−1 4−2 <b>第5章</b> 5−1 5−2 5−3 <b>第6章</b>	跡地関係市町村連絡会議の概要 跡地関係市町村個別会議 跡地関係市町村個別会議の概要 第1回跡地関係市町村個別会議。 第2回跡地関係市町村個別会議。	36 36 40 43
4-1 4-2 <b>第5章</b> 5-1 5-2 5-3 <b>第6章</b> 6-1	跡地関係市町村連絡会議の概要 跡地関係市町村個別会議 跡地関係市町村個別会議の概要 第1回跡地関係市町村個別会議。 第2回跡地関係市町村個別会議。 第2回跡地関係市町村個別会議。 アドバイザー等専門家の派遣等	36 36 40 43
第5章 5-1 5-2 5-3 <b>第6章</b> 6-1 6-2 6-3	跡地関係市町村連絡会議の概要 跡地関係市町村連絡会議 跡地関係市町村個別会議 跡地関係市町村個別会議 の概要 第1回跡地関係市町村個別会議 第2回跡地関係市町村個別会議 第2回跡地関係市町村 第2回跡地関係市町村 第2回跡地関係 第2回跡地関係市町村 第2回跡地関係市町村 第2回跡地関係市町村 第2回跡地関係 第2回跡地関係 第2回跡地関 第2回跡地関係 第2回跡地関係 第2回跡地関 第2回跡地 2回跡地	36 32 40 43 47 48 49

# 第7章 その他の支援事業

7 - 1	広報普及活動	51
7 - 2	関係情報の整理	52
第8章	平成26年度のまとめ	
<b>ま</b> レめ、		53

# 第1章

事業の経緯及び今年度の事業概要

# 第1章 事業の経緯及び今年度の事業概要

# 1-1 事業の経緯

駐留軍用地跡地利用に関する市町村支援事業(以下「市町村支援事業」という。)は、 駐留軍用地の跡地利用実現に向けて主体的な取組を行っている市町村に対し、適切な支援 を行うことを目的に平成11年度から実施している。

# 1 平成 11 年度及び 12 年度

# (1) アドバイザー派遣検討会議の開催

市町村への適切なアドバイスを行うために、有識者等で構成する「アドバイザー派遣 検討会議」を設置し、市町村からの要請を受け、跡地利用に関する課題及びその解決方 策等について検討を行った。

# (2) アドバイザー派遣

市町村からの要請により、跡地利用に関する講演会や地域関係者を交えた会議へ「アドバイザー派遣」を行った。平成11年度は北中城村及び恩納村へ、平成12年度は国頭村、沖縄市及び北中城村へ派遣した。

#### (3) その他の支援事業

#### ア 跡地カルテの作成

17 の各施設・区域ごとの跡地利用の取組状況及び課題等を市町村ヒアリング等を通して抽出し、課題等の共通認識を図り、「アドバイザー派遣」における基礎資料等として整理した「跡地カルテ」を作成した。

#### イ 跡地関連資料の収集及び整理

跡地利用の手法・制度を整理するとともに、参考事例等跡地関連資料の収集及び整理を行った(参考事例調査:知念補給地区跡地、VOA通信所跡地)。

# 2 平成 13 年度

# (1) 事業スキームの検討

前年度に開催された「アドバイザー派遣検討会議」での議論を受け、前年度までのアドバイザーの派遣制度を改め、市町村に対してより適切な支援を行うための事業スキー

ムの検討を行った。

#### (2) アドバイザー派遣

事業スキームに基づき、より効果的な形で市町村に対して派遣を行えるよう、派遣する市町村の「跡地カルテ」やアドバイザーとのディスカッションを踏まえて支援方針案を作成した。

また、「アドバイザー派遣」を行った市町村(沖縄市・北中城村・宜野湾市・那覇市)に対して、複数回派遣を実施し、初回派遣では、地域の課題を引き出すための市町村職員との十分なディスカッションを行い、2回目には市町村の短期・中長期の取組についてアドバイスメモを作成して提案した。

# (3) 市町村支援事業検討会の開催

市町村や施設・区域ごとに異なる課題に対応できるような適切な市町村支援を行うため、「市町村支援事業検討会」を 2 回開催し、市町村に対する「アドバイザー派遣」等の支援策の検討及び今後の市町村支援プログラムのあり方の検討を行った。

#### (4) その他の支援事業

#### ●跡地カルテの更新

前年度に作成した「跡地カルテ」の更新を行った。

# 3 平成 14 年度

# (1) 市町村支援事業検討会議の開催

前年度に引き続き、市町村や施設・区域ごとに異なる課題に対応できるような適切な 市町村支援事業を行うため、「市町村支援事業検討会議」を 2 回開催し、①市町村支援 事業の年間プログラムの検討、②対象市町村の選定、③適切なアドバイザーの選定、④ その他市町村支援に関する必要な事項の検討等を行い、当年度の総括及び次年度以降の 市町村支援スキームの検討を行った。

#### (2) アドバイザー派遣

支援対象市町村に対し、市町村支援事業説明会を開催してアドバイザー派遣の募集を 行い、「市町村支援事業検討会議」において派遣対象地区として決定された、金武町及 び那覇市に対して「アドバイザー派遣」を行った。

#### (3) 重点課題検討調査

前年度に「アドバイザー派遣」を行った市町村の課題等を整理し、国、県、市町村及

びその作業班からなる「重点課題検討調査会」を4回開催し、重点的に検討を必要とする課題の絞り込みやその解決策について検討を行った。

#### (4) その他の支援事業

#### ア 跡地カルテの更新

前年度に引き続き、「跡地カルテ」の更新を行い、原則としてSACO及び日米合同委員会において返還合意が行われた地区、既返還地区で跡地利用が図られていない地区を対象とし、現時点での返還の目途、跡地利用計画の策定状況等を勘案して、それぞれの段階で取り組むことが望まれる項目を把握した上で熟度の整理を行った。

また、「普天間飛行場跡地利用に関するとりまとめ」における 106 項目との関係も示した。

# イ 跡地利用の促進(パンフレット)の更新

「跡地利用の促進(パンフレット)」について次の項目を改訂し、更新を行った。

- ・跡地対策協議会の設置に伴う駐留軍用地跡地対策に係る体制の変化を表示
- ・当年度の「アドバイザー派遣」の実績を追加
- ・今後の跡地利用について、国・県・市町村の役割と次年度の市町村支援事業を紹介

#### ウ 跡地ガイドブックの作成

各施設・区域の「跡地カルテ」の概要と、施設の現況写真(航空写真)及び跡地利用への取組状況を整理した「跡地ガイドブック」を作成した。

#### 4 平成 15 年度

#### (1) 市町村支援事業検討会議の開催

これまでと同様に、市町村や施設・区域ごとに異なる課題に対応できるような適切な 市町村支援事業を行うため、「市町村支援事業検討会議」を 3 回開催し、①市町村支援 事業の年間プログラムの検討、②対象市町村の選定、③適切なアドバイザーの選定、④ その他市町村支援に関する必要な事項の検討等を行い、当年度の総括及び次年度以降の 市町村支援スキームの検討を行った。

#### (2) アドバイザー派遣

市町村支援事業説明会を開催してアドバイザー派遣の募集を行い、「市町村支援事業 検討会議」において派遣対象地区として決定された、恩納村、金武町、石川市(現うる ま市)、沖縄市及び北中城村に対して「アドバイザー派遣」を行った。

#### (3) その他の支援事業

#### ア ホームページコンテンツの充実

市町村支援事業において検討・議論された成果について、経常的な情報公開を図るため、現存する跡地利用対策課のホームページを基本として、「ホームページコンテンツ」の追加・更新を行った。

# イ 跡地利用の促進(パンフレット)の更新

「跡地利用の促進(パンフレット)」について次の項目を改訂し、更新を行った。

- ・返還施設面積、跡地利用概況及び利用面積を最新の数値に更新
- ・「アドバイザー派遣」の流れを変更するとともに、当年度の「アドバイザー派遣」の 実績を追加
- ・今後の跡地利用について、①駐留軍用地跡地利用対策関連経費、②大規模駐留軍用 地等利用推進費の事業説明文を追記

## 5 平成 16 年度

### (1) 市町村個別訪問(市町村ヒアリング)の実施

「跡地カルテ」対象市町村へ個別訪問を行い、施設について個別の課題等を整理し、 当年度の市町村支援事業の取組についての説明及び「アドバイザー派遣」の募集を行っ た。

#### (2) 市町村支援事業検討会議の開催

市町村や施設・区域ごとに異なる課題に対応できるような適切な市町村支援事業を行うため、「市町村支援事業検討会議」を 4 回開催し、跡地利用に係る市町村支援のあり方、支援内容及び支援の進め方等の検討等を行うとともに、当年度までの課題整理と次年度以降の事業展開の方向性の検討を行った。

#### (3) 情報交換会の開催

市町村の跡地担当者及び関連部局の職員等を対象に、関係市町村共通の課題等の情報 交換を行い、担当者のスキルアップを支援し、担当者同士で気軽に連絡がとりあえる関 係を築くことで、跡地利用の促進に寄与することを目的として、「情報交換会」を 2 回 開催し、アドバイザーからの情報提供(地権者の合意形成、企業誘致等)や参加者によ る意見交換を行った。

#### (4) 専門家の派遣 (アドバイザー派遣及び相談対応)

「市町村支援事業検討会議」において派遣対象地区として決定された、恩納村及び石川市(現うるま市)に対して「アドバイザー派遣」を行った。

また、前年度までに実施した「アドバイザー派遣」に対して継続的なアドバイスを行うために、市町村からの相談(恩納村10回、金武町2回、石川市(現うるま市)9回)に対して地域担当コンサルタントが対応した。

# (5) その他の支援事業

#### ア 実績のデータベース化

「アドバイザー派遣」の実績及び「跡地カルテ」をデータベース化し、「跡地カルテ」対象市町村へCD-ROM等の電子媒体で配付した。

#### イ 跡地カルテの更新

平成15年度版の「跡地カルテ」を市町村に送付し、担当課の修正箇所指摘に基づき、「跡地カルテ」の更新を行った。

#### ウ 跡地利用の促進(パンフレット)の更新

市町村支援事業の成果を広く広報・普及するためにデザインを含めてリニューアルし、 次の項目を改訂し、更新を行った。

- ・「アドバイザー派遣」の流れに相談対応を追加
- ・新設の「情報交換会」の説明を追加

#### エ 情報交換会のパンフレット作成

新設した「情報交換会」の内容について、市町村の担当者の今後の業務に参考となるよう事例紹介資料や意見交換会の内容及び参考資料をパンフレットとして作成した。

#### オ 返還跡地・施設ガイドの更新

平成14年度に作成した「跡地ガイドブック」を「跡地カルテ」の更新内容に基づき、 「返還跡地・施設ガイド」として更新した。

#### 6 平成 17 年度

#### (1) 市町村個別訪問(市町村ヒアリング)の実施

前年度に引き続き、「跡地カルテ」対象市町村へ個別訪問を行い、施設について個別の課題等を整理し、当年度の市町村支援事業の取組についての説明及び「アドバイザー派遣」の募集を行った。

#### (2) 駐留軍用地跡地利用推進懇談会の開催

市町村や施設・区域ごとに異なる課題に対応できるような適切な市町村支援事業を行うため、跡地利用に詳しい有識者等から跡地利用対策全般に関して意見を聴取し、今後の跡地利用行政の参考とすることを目的に、従来の「市町村支援事業検討会議」を「駐留軍用地跡地利用推進懇談会」(以下「推進懇談会」という。)と改め、3回開催し、跡地利用を巡る課題と今後の対応や、市町村支援事業の役割等について意見交換を行った。

#### (3)情報交換会の開催

前年度に引き続き、市町村の跡地担当者及び関連部局の職員等を対象に、「情報交換会」を3回開催し、事業手法ミックスによる効率的な事業推進、地権者の合意形成、跡地利用推進の体制整備等について、アドバイザー等からの情報提供や参加者による意見交換等を行った。

#### (4) 専門家の派遣(アドバイザー及びコンサルタント派遣、相談対応)

「アドバイザー派遣」は要請のあった恩納村及び北中城村に対して派遣を行い、市町村からの相談(恩納村4回、金武町3回、うるま市1回、沖縄市1回、北中城村1回)に対して地域担当コンサルタントが対応した。

また、当年度から「コンサルタント派遣」のメニューを新設した。ただし、当年度は 市町村から要請はなかった。

#### (5) その他の支援事業

#### ア 関係情報の整理・資料作成

駐留軍用地の跡地利用に関係する既存の報告書・関係資料を体系的に整理を行った。

#### イ 跡地カルテの更新

13 市町村・24 施設について、各市町村個別に改訂への協力依頼を行い、「跡地カルテ」の更新を行った。

#### ウ 成果の広報普及活動の充実

当年度の活動を基に、「跡地利用の促進(パンフレット)」及び「ホームページコンテンツ」の更新を行い、「情報交換会」の内容を冊子にまとめ、関係市町村へ配付した。

# 7 平成 18 年度

#### (1) 市町村個別訪問(市町村ヒアリング)の実施

「跡地カルテ」対象市町村へ個別訪問を2回行い、施設について個別の課題等を整理 し、当年度の市町村支援事業の取組についての説明及び「アドバイザー派遣」等の募集 を行った。

#### (2) 駐留軍用地跡地利用推進懇談会の開催

前年度に引き続き、市町村や施設・区域ごとに異なる課題に対応できるような適切な 市町村支援事業を行うため、跡地利用に詳しい有識者等から跡地利用対策全般に関して 意見を聴取し、今後の跡地利用行政の参考とすることを目的に「推進懇談会」を2回開 催し、広域的な跡地利用のマスタープラン等の検討や、新設したプロジェクト・マネー ジャーの役割等について意見交換を行った。

# (3) 情報交換会の開催

前年度に引き続き、市町村の跡地担当者及び関連部局の職員等を対象に、「情報交換会」を3回開催し、1回目は返還予定駐留軍用地に係る計画的用地の確保、2回目は市町村の広域連携をテーマに、有識者等からの情報提供や参加者による意見交換を行い、また、3回目はミニシンポジウムとし、北中城村へ派遣中のプロジェクト・マネージャーからアワセゴルフ場地区の事例報告、パネリストと参加者による意見交換等を行った。

#### (4) 専門家の派遣 (アドバイザー、プロジェクト・マネージャー等)

従来の「アドバイザー派遣」及び相談対応、「コンサルタント派遣」に加え、当年度から「プロジェクト・マネージャー派遣」の制度を創設した。

「アドバイザー派遣」は要請のあった北中城村及び那覇市に対して派遣を行い、「プロジェクト・マネージャー派遣」は、跡地利用等に関し専門的知識を有する者を派遣し、市町村の跡地利用に係る負担を軽減することにより、跡地利用の促進及び円滑化を図ることを目的に、北中城村からの要請に応じて半年間の派遣を行った。

なお、当年度の「コンサルタント派遣」の要請はなかった。

#### (5) その他の支援事業

#### ア 跡地カルテの更新

当年度から新たに浦添市を加えて 14 市町村・25 施設に対して、各市町村個別に改訂への協力依頼を行い、「跡地カルテ」の更新を行った。

#### イ 成果の広報普及活動の充実

当年度の活動を基に、「跡地利用の促進 (パンフレット)」の更新を行い、「情報交換会」の内容を冊子にまとめ、関係市町村へ配付した。

#### ウ 関係情報の整理・資料作成

駐留軍用地の跡地利用に関係する既存の報告書・関係資料について次の項目を整理・ 更新した。

- ・沖縄県単費調査リスト
- ・沖縄総合事務局調査リスト
- ・推進費調査リスト
- ・市町村支援事業の流れ

# 8 平成 19 年度

#### (1) 市町村個別訪問(市町村ヒアリング)の実施

「跡地カルテ」対象市町村へ個別訪問を2回行い、施設について個別の課題等を把握・整理し、当年度の市町村支援事業の取組についての説明及び「アドバイザー派遣」や「プロジェクト・マネージャー派遣」の募集を行った。

#### (2) 駐留軍用地跡地利用推進懇談会の開催

これまでと同様、市町村や施設・区域ごとに異なる課題に対応できるような適切な市町村支援事業を行うため、跡地利用に詳しい有識者等から跡地利用対策全般に関して意見を聴取し、今後の跡地利用行政の参考とすることを目的に「推進懇談会」を2回開催し、推進懇談会の位置付けや今後の支援事業の取組、ギンバル訓練場の跡地利用に向けた支援等について意見交換を行った。

#### (3) アドバイザー、プロジェクト・マネージャー等専門家の派遣

「アドバイザー派遣」は要請のあった恩納村及び金武町に対して派遣を行い、「プロジェクト・マネージャー派遣」は前年度に引き続き、跡地利用の促進及び円滑化に向けた技術的かつ人的な支援を図るため、北中城村へ年間を通じて派遣した。

なお、当年度の「コンサルタント派遣」の要請はなかった。

#### (4) 情報交換会の開催

前年度に引き続き、市町村の跡地担当者及び関連部局の職員等を対象に、「情報交換会」を3回開催し、1回目は埋蔵文化財調査の取組事例や課題、2回目は事業用地確保に向けた地権者合意形成、3回目は企業誘致の取組等をテーマに、有識者等からの情報提供や参加者による意見交換等を行った。

#### (5) その他の支援事業

#### ア 成果の広報普及活動の充実

当年度の活動を基に、「跡地利用の促進 (パンフレット)」の更新を行い、「情報交換会」の内容を冊子にまとめ関係市町村へ配付した。

#### イ 関係情報の整理・資料作成

これまでと同様、駐留軍用地の跡地利用に関係する既存の報告書・関係資料について整理・更新し、併せて、支援事業や推進費のこれまでの流れを整理した。

- ・沖縄県単費調査リスト
- ・沖縄総合事務局調査リスト
- ・推進費調査リスト
- ・市町村支援事業の流れ
- ・推進費の流れ

#### ウ キャンプ瑞慶覧地区の整理

キャンプ瑞慶覧(宜野湾市部分)で、大規模返還がなされた場合の対応を整理した。

#### エ 市町村課長等会議の開催

跡地利用に取り組んでいる 10 市町村の担当課長等を一堂に会した会議を開催し、取組状況の報告、市町村支援事業のメニューや推進費の活用について意見交換を行い、今後の進め方を確認した。

#### オ 有識者意見交換会の開催

跡地利用の有識者(アドバイザー)等による意見交換会を開催し、市町村支援事業の 改善点や新規提案事項、推進費の活用の今後の方向性等について意見交換を行った。

#### 力 先進地調査

跡地利用の実現に向けて、参考となる大規模開発(新市街地整備)の先進地(愛知県 名古屋地区及び周辺)の状況について、現地調査を行った。

## 9 平成 20 年度

#### (1) 市町村個別訪問(市町村ヒアリング)の実施

駐留軍用地の跡地利用に取り組んでいる市町村へ跡地利用に向けた課題等を把握・整理するため個別訪問を2回行い、結果を「跡地カルテ」に反映させるとともに、当年度の市町村支援事業の取組についての説明及び「アドバイザー派遣」及び「プロジェクト・マネージャー派遣」等の募集を行った。

# (2) 駐留軍用地跡地利用推進懇談会の開催

これまでと同様、市町村や施設・区域ごとに異なる課題に対応できるような適切な市町村支援事業を行うため、跡地利用に詳しい有識者等から跡地利用対策全般に関して意見を聴取し、今後の跡地利用行政の参考とすることを目的に「推進懇談会」を2回開催

し、金武町(ギンバル訓練場)、恩納村(恩納通信所)及び北中城村(アワセゴルフ場) の担当者から取組状況報告や課題等の説明を受け、意見交換を行った。

また、市町村の跡地利用担当者のための、駐留軍用地跡地利用の手引となるもの(以下「手引書」という。)の作成等について提案がなされた。

# (3) アドバイザー、プロジェクト・マネージャー等専門家の派遣

「アドバイザー派遣」は要請のあった本部町、恩納村、金武町、読谷村、沖縄市及び 北中城村に対して派遣を行い、「プロジェクト・マネージャー派遣」は前年度に引き続 き、北中城村からの要請に応じて、跡地利用の促進及び円滑化に向けた技術的かつ人的 な支援を図るため、北中城村へ年間を通じて派遣した。

また、「コンサルタント派遣」は北中城村の要請により、2名の派遣を行った。

# (4) 情報交換会の開催

これまでと同様、市町村の跡地担当者及び関連部局の職員等を対象に、「情報交換会」を 2 回開催し、1 回目は土地区画整理事業等の課題や留意点、2 回目は環境影響評価等について、有識者から具体的な取組事例や手続等を紹介し、参加者による意見交換等を行った。

# (5) 市町村跡地担当課長等会議の開催

市町村の跡地担当課長等を対象に、跡地利用に関連した講演や情報・意見交換を行うため「市町村跡地担当課長等会議」(以下「担当課長会議」という。)を 2 回開催し、1 回目は那覇新都心事業の事例紹介等、2 回目は軍用地跡地利用の特徴と市町村の役割等について、有識者からの情報提供や参加者による意見交換を行った。

#### (6) その他の支援事業

#### ア 広報普及活動の充実

当年度の活動を報告書としてとりまとめるとともに、「跡地利用の促進 (パンフレット)」及び「跡地カルテ」の更新、「ホームページコンテンツ」の更新を行い、「情報交換会」の内容を冊子にまとめ、関係市町村へ配付した。

#### イ 関係情報の整理・資料作成

これまでと同様、駐留軍用地の跡地利用に関係する既存の報告書・関係資料等について整理・更新した。

#### ウ 有識者意見交換会の開催

跡地利用の有識者(「推進懇談会」の座長)と、市町村への跡地利用支援のあり方について意見交換を行い、当年度以降の市町村支援事業の進め方の妥当性や「手引書」の

方向性について確認した。

#### エ 手引書目次案の作成

「手引書」について、関係者とのヒアリングを経て、その内容の具体性を高め、跡地 に係わる関係者との意見調整を行うため。「手引書」の目次案を作成した。

# 10 平成21年度

#### (1) 市町村個別訪問(市町村ヒアリング)の実施

駐留軍用地の跡地利用に取り組んでいる市町村へ跡地利用に向けた取組状況や課題等を把握・整理するために個別訪問を2回行い、結果を「跡地カルテ」に反映させるとともに、市町村支援事業に対する要望の有無についてヒアリングを行った。

#### (2) 駐留軍用地跡地利用推進懇談会の開催

これまでと同様、跡地利用に詳しい有識者等から跡地利用対策全般に関して意見を聴取し、今後の跡地利用行政の参考とすることを目的に「推進懇談会」を2回開催し、北中城村(アワセゴルフ場)から取組状況報告と課題の説明を受けて意見交換を行い、また、次年度から作成する「手引書」の内容を示す「手引書構成案」を作成した。

# (3) アドバイザー、プロジェクト・マネージャー等専門家の派遣

「アドバイザー派遣」は要請のあった読谷村及び那覇市に対して派遣を行い、「プロジェクト・マネージャー派遣」は前年度に引き続き北中城村からの要請に応じて派遣を行った。

なお、当年度は「コンサルタント派遣」の要請はなかった。

#### (4) 情報交換会の開催

これまでと同様、市町村の跡地担当者及び関連部局の職員等を対象に、「情報交換会」を 2 回開催し、1 回目はエリアマネジメントの取組事例、返還跡地を活用するまでの沖縄防衛局の役割、2 回目は地域資源活用によるブランドづくり、那覇新都心における跡地利用事業の成果等についてをテーマに、有識者等からの情報提供や参加者による意見交換等を行った。

# (5) 市町村跡地担当課長等会議の開催

前年度に引き続き、市町村の担当課長等を対象に、跡地利用に関連した講演や情報・ 意見交換を行うため「担当課長会議」を 2 回開催し、1 回目は地域の特性を活かした社 会資本整備のあり方、②回目は住民参加型のまちづくりの事例等をテーマに、有識者等 からの情報提供や参加者による意見交換等を行った。

#### (6) その他の支援事業

#### ア 広報普及活動の充実

当年度の活動を報告書として取りまとめるとともに、「跡地利用の促進(リーフレット)」及び「跡地カルテ」の更新、「ホームページコンテンツ」の更新を行い、「情報交換会」及び「担当課長会議」の内容を冊子にまとめ、関係市町村へ配付した。

#### イ 関係情報の整理・資料作成

これまでと同様、駐留軍用地の跡地利用に関係する既存の報告書・関係資料等について整理・更新した。

#### ウ 「手引書構成案」の作成

有識者、跡地利用関係市町村担当者等の跡地関係者との意見交換を経て、「推進懇談会」において作成した。

#### エ 有識者意見交換会の開催

「推進懇談会」の委員を中心とした有識者と、市町村への跡地利用支援のあり方について意見交換を行い、「手引書構成案」の意見交換を行った。

# 11 平成 22 年度

# (1) 跡地関係市町村の取組における検討課題の把握等

跡地関係市町村による返還跡地等への取組状況、取組に際しての検討課題の把握及び 支援要望の有無についてヒアリングを行うため、跡地関係市町村を2回個別に訪問する とともに、ヒアリング結果を「跡地カルテ」に反映した。

#### (2) 駐留軍用地跡地利用推進懇談会

これまでと同様、跡地利用に詳しい学識経験者等の有識者から、跡地関係市町村や施設・区域ごとの課題について議論していただき、跡地利用行政の参考に資することを目的に「推進懇談会」を 2 回開催し、アドバイザー等専門家の派遣等のあり方の検討や、「手引書」の策定に併せて、今後の跡地利用を進めるに当たっての考え方を取りまとめた「メッセージ」の作成を行った。

#### (3) 情報交換会

跡地関係市町村の跡地担当者及び関連部局の職員等を対象に、跡地利用に関するテーマを題材とした「情報交換会」を2回開催し、埋蔵文化財調査に関する手続きや留意点、 取組事例、関係機関との調整等について、市町村等担当者や有識者等からの情報提供、 意見交換等を行った。

#### (4) 跡地関係市町村担当課長会議

跡地関係市町村の担当課長を対象に、跡地利用に関連した講演や情報・意見交換を行うため、「担当課長会議」を2回開催し、1回目は環境に配慮したまちづくり、2回目は不発弾等対策についてをテーマに、有識者等からの情報提供と参加者による意見交換等を行った。

なお、第2回「担当課長会議」では、「手引書」の内容等について意見交換を行った。

# (5) アドバイザー等専門家の派遣

跡地関係市町村の個別課題の解決に向けて、「アドバイザー派遣」は要請のあった金 武町及び北中城村に対して派遣を行い、「プロジェクト・マネージャー派遣」は前年度 に引き続き、アワセゴルフ場跡地利用の推進に従事させるため、北中城村からの要請に 応じて派遣を行った。

なお、当年度は「コンサルタント派遣」の要請はなかった。

#### (6) その他の支援事業

# ア 広報普及活動の充実

当年度の活動を報告書として取りまとめるとともに、「跡地利用の促進(リーフレット)」及び「跡地カルテ」の更新、支援事業関連情報の「ホームページコンテンツ」の作成を行った。

また、「情報交換会」、「担当課長会議」での講演会の内容を冊子にまとめ、市町村へ配付した。

さらに、平成16年度に作成した「返還跡地・施設ガイド」について、これまでの「跡地カルテ」の更新内容等に基づきリニューアルし、新たに「返還跡地・返還合意施設ガイド」として作成した。

# イ 関係情報の整理

これまでの大規模駐留軍用地跡地等利用推進費調査の実績を整理した。

#### ウ キャンプ瑞慶覧に関する類似地区意見交換会

地域性、隣接性、返還に向けた段階等から類似性のある地区として、「キャンプ瑞慶覧」を抽出し、関係する市町村(沖縄市・北中城村・北谷町・宜野湾市)の担当者を対象に、各跡地の取組状況や今後の課題を担当者間で情報共有することを目的として「類似地区意見交換会」を実施した。

#### エ 手引書の作成

跡地関係市町村担当者等の跡地利用の指針となる「手引書」について、前年度作成

した「手引書構成案」を基に、手引書作成作業部会の助言等を経て取りまとめを行った。

# 12 平成23年度

#### (1) 跡地関係市町村の取組における検討課題の把握等

跡地関係市町村による返還跡地等への取組状況、取組に際しての検討課題の把握及び 支援要望の有無についてヒアリングを行うため、跡地関係市町村を2回個別に訪問する とともに、ヒアリング結果を「跡地カルテ」に反映した。

#### (2) 駐留軍用地跡地利用推進懇談会

これまでと同様、跡地利用に詳しい学識経験者等の有識者から、跡地関係市町村や施設・区域ごとの課題について議論していただき、跡地利用行政の参考に資するため「推進懇談会」を2回開催し、跡地利用に促進に向けた民間参画の実現を果たす上での県及び市町村の役割等について、意見交換を行った。

#### (3) 情報交換会

跡地関係市町村の跡地担当者及び関連部局の職員等を対象に、跡地利用に関するテーマを題材とした「情報交換会」を2回開催し、1回目は地権者合意形成に必要な要素や市町村担当者の心構えについて、2回目は世界的な都市間競争に勝ち抜くために行政が果たすべき役割等及び県内や県外の事例を通して企業誘致における新しい動きと市町村の役割等について、講演形式で情報提供を行った。

#### (4) 跡地関係市町村担当課長会議

跡地関係市町村の担当課長等を対象に、跡地利用に関連した講演や情報・意見交換を行うため、「担当課長会議」を2回開催し、1回目は跡地利用における地権者の参画・組織づくりについて、実務担当者による講演形式で行い、2回目は組合施行の取組を基に、地権者の跡地利用への参画及び企業誘致・立地や投資を巡る県外の事例紹介について、講演形式で情報提供を行った。

#### (5) アドバイザー等専門家の派遣

跡地関係市町村の個別課題の解決に向けて、「アドバイザー派遣」は要請のあった金武町及び宜野湾市に対して派遣を行い、「プロジェクト・マネージャー派遣」は前年度に引き続き、アワセゴルフ場等跡地利用の推進に従事させるため、北中城村からの要請に応じて派遣を行った。

なお、当年度は「コンサルタント派遣」の要請はなかった。

# (6) その他の支援事業

#### ア 企業誘致に関する類似地区意見交換会

第1回「推進懇談会」において「跡地利用を進める上で、民間の活用を実現するために県や市町村が果たすべき役割」について議論されたことを受け、企業誘致の実績がある、又は、企業誘致を予定している市町村を対象に「民間参画の方法・進め方等における市町村の役割・課題等」について意見交換を行った。

#### イ 広報普及活動の充実

当年度の活動を報告書として取りまとめるとともに、「跡地利用の促進(リーフレット)」及び「跡地カルテ」の更新、支援事業関連情報の「ホームページコンテンツ」の作成を行った。

また、「情報交換会」、「担当課長会議」での講演会の内容を冊子にまとめ、市町村へ 配付した。

#### ウ 関係情報の整理

これまでの大規模駐留軍用地跡地等利用推進費調査の実績を整理した。

# 13 平成24年度

#### (1) 跡地関係市町村の取組における検討課題の把握等

跡地関係市町村による返還跡地等への取組状況、取組に際しての検討課題の把握及び 支援要望の有無についてヒアリングを行うため、跡地関係市町村を2回個別に訪問する とともに、ヒアリング結果を「跡地カルテ」に反映した。

#### (2) 駐留軍用地跡地利用推進懇談会

これまでと同様、跡地利用に詳しい学識経験者等の有識者から、跡地関係市町村や施設・区域ごとの課題について議論していただき、跡地利用行政の参考に資することを目的に「推進懇談会」を2回開催し、民間参画を促進するための市町村等が果たす役割や、今後の支援事業の新たな取組等について意見交換を行った。

#### (3) 跡地関係市町村担当課長会議

跡地関係市町村の担当課長等を対象に、跡地利用に関連した講演や情報・意見交換を行うため、「担当課長会議」を2回開催し、1回目は「沖縄県における駐留軍用地跡地の有効かつ適切な利用の推進に関する特別措置法(以下「跡地利用特措法」という。)」について、内閣府及び防衛省担当者による説明等が行われ、2回目は災害に強く環境にやさしいまちをつくるための考え方や手法について、講演形式で情報提供を行った。

# (4) 情報交換会

跡地関係市町村の跡地担当者及び関連部局の職員等を対象に、担当職員間の情報共有や意見交換の場として、跡地利用に関するテーマを題材とした「情報交換会」を2回開催し、1回目は民間事業者の企画開発力及び経営ノウハウを活用し、周辺地域を含めた跡地利用の活性化を促す手法等について、講演形式で情報提供を行った。また、「アワセゴルフ場跡地の進捗状況」について、北中城村担当者による説明が行われた。2回目は用地確保のため活用が求められる集約換地の活用方法と現状、用地の活用における民間活用の事例・あり方について及び土地区画整理事業の業務の相当部分を民間事業者へ委託する手法等について、講演形式で情報提供を行った。

#### (5) アドバイザー等専門家の派遣

跡地関係市町村の個別課題の解決に向けて、「アドバイザー派遣」は要請のあった宜野湾市、読谷村及び本部町に対して派遣を行い、「コンサルタント派遣」は要請のあった北中城村及び北谷町へ派遣を行った。

「プロジェクト・マネージャー派遣」は前年度に引き続き、アワセゴルフ場跡地利用 の推進に従事させるため、北中城村からの要請に応じて派遣を行った。

# (6) その他の支援事業

#### ア 広報普及活動の充実

当年度の活動を報告書として取りまとめるとともに、「跡地利用の推進(リーフレット)」及び「跡地カルテ」の更新、支援事業関連情報の「ホームページコンテンツ」の更新を行った。

また、「情報交換会」、「担当課長会議」での講演会の内容を冊子にまとめ、市町村へ配付した。

#### イ 手引書の更新

平成 22 年度に発行した「駐留軍用地跡地利用のための手引書」を平成 24 年 4 月 1 日に跡地利用特措法が施行されたこと等から、手引書の内容を更新した。

#### ウ 関係情報の整理

平成 23 年度までの大規模駐留軍用地跡地等利用推進費調査の実績及び平成 24 年度 沖縄振興特別推進交付金(一括交付金)による跡地関係調査の実績を整理した。

#### 14 平成25年度

#### (1) 跡地関係市町村の取組における検討課題の把握等

跡地関係市町村による返還跡地等への取組状況、取組に際しての検討課題の把握及び

支援要望の有無についてヒアリングを行うため、跡地関係市町村を 2 回個別に訪問する とともに、ヒアリング結果を「跡地カルテ」に反映した。

#### (2) 駐留軍用地跡地利用推進懇談会

これまでと同様、跡地利用に詳しい学識経験者等の有識者から、跡地関係市町村や施設・区域ごとの課題について議論していただき、跡地利用行政の参考に資することを目的に「推進懇談会」を2回開催し、本部町(上本部飛行場跡地)や金武町(ギンバル訓練場跡地)のから取組状況報告を受け、今後の支援事業の新たな取組や都市的利用以外の市町村への支援メニューについて意見交換を行った。

#### (3) 跡地関係市町村担当課長会議

跡地関係市町村の担当課長等を対象に、跡地利用に関連した講演や情報・意見交換を行うため、「担当課長会議」を2回開催し、1回目は跡地に残された貴重な緑地を保全するための考え方や手法について、講演形式で情報提供を行った。また、沖縄振興開発金融公庫から、跡地利用における同公庫の取組や、平成25年度に関係市町村を対象に拡充・創設された「「駐留軍用地跡地開発促進貸付制度」について、情報提供を行った。2回目は基地跡地という特殊性がある地区の合意形成の事例等について、読谷村内の2地区の地区計画による取組状況等を講演形式で情報提供を行った。また、小規模な区域を段階的に整備する「柔らかい区画整理」を実施することのメリットや事例について、講演形式で情報提供を行った。

#### (4) 情報交換会

跡地関係市町村の跡地担当者及び関連部局の職員等を対象に、担当職員間の情報共有や意見交換の場として、跡地利用に関するテーマを題材とした「情報交換会」を2回開催し、1回目は6次産業化による地域資源を活用した新しい産業の事例等について、講演形式で情報提供を行った。また、北中城村へ派遣したプロジェクト・マネージャーから、アワセゴルフ場跡地における事業化までの取組状況や問題点等活動状況等の報告を行った。2回目は平成23年度に改正された環境影響評価法における制度の概要等について、講演形式で情報提供を行った。また、アワセゴルフ場跡地において、実際に調査を実施した担当者から、環境影響評価を実施する際の留意点等について、講演形式で情報提供を行った。

#### (5) アドバイザー等専門家の派遣

跡地関係市町村の個別課題の解決に向けて、「アドバイザー派遣」は要請のあった宜野湾市、浦添市及び那覇市に対して派遣を行い、「コンサルタント派遣」は要請のあった宜野湾市及び北中城村へ派遣を行った。

「プロジェクト・マネージャー派遣」は返還が合意されているキャンプ瑞慶覧(ロウワー・プラザ住宅地区、喜舎場住宅地区)及び既返還地であるキャンプ瑞慶覧(サウス

プラザ地区)の跡地利用の推進に従事させるため、前年度に引き続き北中城村からの要請に応じて派遣を行った。

# (6) その他の支援事業

# ア 広報普及活動の充実

当年度の活動を報告書として取りまとめるとともに、「跡地利用の推進(リーフレット)」、「跡地カルテ」及び「返還跡地・返還合意施設ガイド」の更新、支援事業関連情報の「ホームページコンテンツ」の更新を行った。

#### イ 関係情報の整理

平成 23 年度までの大規模駐留軍用地跡地等利用推進費調査の実績及び平成 25 年度 沖縄振興特別推進交付金(一括交付金)による跡地関係調査の実績を整理した。

	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
作業機関		都市科学政策研究所 +NIAC	都市みらい+NIAC	NIAC	NIAC	NIAC	NIAC		玉野総合コンサルタント機	玉野総合コンサルタント機				玉野総合コンサルタント㈱		
	恩納村 (恩納通信所)	国頭村 (北部訓練場)	沖縄市 (ライカム地区)	金武町(ギンバル訓練場)	1	恩納村 (恩納通信所)	1	北中城村 (アワセゴルフ場地区他)	恩納村 (恩納通信所)	本部町 (上本部飛行場)	読谷村 (読谷補助飛行場他)	金武町 (ギンバル訓練場)	金武町(ギンバル訓練場)	本部町 (上本部飛行場)	宜野湾市 (普天間飛行場)	宜野湾市 (普天間飛行場)
	北中城村 (ロウワープラザ地区)	沖縄市 (ライカム地区)	北中城村 (アワセゴルフ場地区)	沖縄市、北中城村 〈ライカム・ロウワー地区〉	金武町	石川市 (旧東恩納弾薬庫(楚南地区)及び嘉手納弾薬庫地区)	北中城村 (ロウワープラザ地区)	那蟖市 (那鞝港湾施設)	金武町(ギンバル訓練場)	恩納村 (恩納通信所)	那覇市 (那覇港湾施設)	北中城村 (アワセゴルフ場地区)	宜野湾市 (普天間飛行場)	読谷村 (大木地区)	浦添市 (牧港補給地区)	
アドバイ ザー派遣 した市町村	न	北中城村 (ロウワーブラザ地区)	宜野湾市 (キャンブ瑞慶覧)	那覇市 (那瑚港湾施設)	石川市 (旧東恩納弾薬庫(楚南地 区)及び嘉手納弾薬庫地 区)					金武町 (ギンバル訓練場)				宜野湾市 (普天間飛行場)	那覇市 (那覇港湾施設)	
(施設・区域)			那顯市 (那覇港湾施設)		沖縄市 (ライカム地区)					読谷村 (読谷補助飛行場他)						
					北中城村 (喜舎場ハウジング地区)					沖縄市 (ライカム地区)						
										北中城村 (アワセゴルフ場地区他)						
	大將:	     														
		アドバイザー派遣 検討会議	事業スキーム検討	重点課題検討調査							推進	想談会 				
		カルテ作成	カル	テ更新	カルテ切り離し 別事業		1	1			カルテ更新	1	I	<u> </u>	I	
		跡地関連資料収集									関連情報の動	    整理・資料作成				
		及び整理														
				市町村支援	事業検討会議											
				跡地ガイドブックの 作成		返還跡地・施設ガイド 更新						返還跡地・返還合意施 設ガイド更新			返還跡地・返還合意施 設ガイド更新	
				跡地利用の促進 (リーフレット)の作成						跡地利用の促進(	  リーフレット)の更新					
					ホームベージコンテンツ	実績のデータベース化					#-1.6"-55-	コンテンツの更新				
	***********************				の追加・更新	夫領の / ブ・・ 人に					, A. 7	1575700 <u>E</u> #I				
											市町村個別訪問					
										情報	交換会					
支援事業 メニュー (アドバイ ザー派遣 除く)																跡地関係市町村 連絡会議
除()						情報交換会 パンフレット作成		情報交換会記録	k(冊子)作成·配布			情報交換会·担当課長	長会議記録(冊子)作成			
						地域担当コンサルゲ	タントによる相談対応			コンサルタント派遣	1				コンサルタント派遣	
												プロジェクトマネージャー派遣	<u>:</u>			
												市町村担当課長会議				
																跡地関係市町村 個別会議
									キャンプ瑞慶覧地区 の整理			類似地区意見交換会 (キャンブ瑞度覧)	類似地区意見交換会 (企業誘致)			1831 7月 天 奇銭
										有識者意見交換会		(11-2-1000,367	122-75-102-957			
									先進地調査	手引書目次案作成	手引書構成案作成	<b>∓</b> 31€	<b>警</b> 作成	手引書更新		
													手引書説明会			
													アドバイザー等専門家 の派遣要綱 作成			

# 1-2 今年度の事業概要

#### 1 事業の名称

平成 26 年度 駐留軍用地跡地利用に関する市町村支援業務 (アドバイザー派遣等業務)

#### 2 事業の目的

本業務は、SACO 最終報告等で返還が合意された駐留軍用地又は駐留軍用地跡地(以下「返還跡地等」という。)の跡地利用の推進を図るため、返還跡地等の所在市町村(以下「跡地関係市町村」という。)が実施する返還跡地等の利用等に関する取組を支援するものである。

# 3 事業の内容

#### (1) 跡地関係市町村の検討課題の把握等

跡地関係市町村による返還跡地等への取組状況、取組に際しての検討課題の把握及び 支援要望の有無についてヒアリングを行うため、跡地関係市町村を2回個別に訪問する とともに、ヒアリング結果を「跡地カルテ」等に反映した。

#### (2) 駐留軍用地跡地利用推進懇談会

「推進懇談会」は、駐留軍用地跡地利用に詳しい学識経験者等の有識者により構成し、返還跡地等、跡地関係市町村ごとに異なる課題について意見交換し、跡地利用を推進する際の留意点、新たな支援方法を検討して、跡地利用行政の参考に資するため2回開催した。

#### 【推進懇談会委員】

所属 役職/専門分野

荒田 厚 ㈱日本都市総合研究所 代表取締役/地域計画 都市開発

大澤 真 ㈱フィーモ 代表取締役/金融政策 地域振興

阪井 暖子 Planning & Produce Studio SAI 代表/都市景観 市民・住民参加の

まちづくり 合意形成

堤 純一郎 琉球大学工学部 教授/都市環境 都市計画

中本 清 沖縄県建築設計サポートセンター 理事長/都市建設 建築・景観

西 建吾 日本測地設計㈱ 特別顧問/行政・地方財政 事業制度 新田 進 那覇新都心㈱ 代表取締役社長/都市開発 事業推進

(五十音順)

※阪井委員は第2回推進懇談会から委員に就任

#### (3) 跡地関係市町村連絡会議

跡地関係市町村において跡地利用の実務に携わっている担当者を対象に、跡地利用担当者間の連携強化を図り、必要な情報を提供するとともに、担当者のスキルアップを図るため、「跡地関係市町村連絡会議」(以下「連絡会議」という。)を1回開催した。

テーマは「埋蔵文化財調査の円滑な実施について」とし、今後返還が予定されている 返還跡地等において跡地利用を推進していく上でも、埋蔵文化財調査は重要なプロセス であると同時に、跡地利用計画や事業の進捗においては重要な要素となってくることか ら、円滑な跡地利用への取組の推進と貴重な文化財の調査・保護を両立させるため、埋 蔵文化財調査を実施する上での留意点等について、実務を担当してきた経験者による情 報提供を行った。

また、駐留軍用地跡地利用支援システムの更新に伴い、沖縄総合事務局総務部跡地利用対策課よりシステムの概要等について情報提供を行った。

#### (4) 跡地関係市町村個別会議

跡地利用の手法が類似する跡地関係市町村を対象に、各市町村の跡地利用に対する取組状況の報告及び意見交換を中心に、より具体的、深掘りした情報の共有を目的に「跡地関係市町村個別会議」(以下「個別会議」という。)を2回開催した。

1回目は、平成25年4月に発表された統合計画で返還時期等が示された嘉手納飛行場より南の施設を有する跡地関係市町村を対象に、公共用地の先行取得の取組状況等の情報を共有し、跡地利用における公共用地確保の取組の参考とすることを目的にした意見交換を実施した。

なお、意見交換に先立ち、跡地利用対策課から跡地利用特措法における先行取得制度の概要説明を行うとともに、土地区画整理事業における集約化の事例や先行買収の必要性等について、有識者による講演形式で情報提供を行った。

2 回目は、嘉手納飛行場より北の施設を有する跡地関係市町村を対象に、6次産業化の事例や6次産業化のポイント等について参考事例等の情報提供をするとともに、跡地利用の取組状況等の情報を共有することを目的とした意見交換を実施した。

なお、意見交換に先立ち、農と緑を活かした土地利用の事例等について、有識者による講演形式で情報提供を行った。

# (5) アドバイザー等専門家の派遣等

跡地関係市町村の個別課題の解決に向けて、「アドバイザー派遣」は要請のあった宜野湾市に対して派遣を行い、「コンサルタント派遣」は要請のあった北谷町へ派遣を行った。

「プロジェクト・マネージャー派遣」は、返還を間近に控えた、キャンプ瑞慶覧(西普天間住宅地区)の跡地利用の推進に従事させるため、宜野湾市からの要請に応じて 2名の派遣を行った。

# (6) その他の支援事業

# ア 広報普及活動の充実

今年度の活動を報告書として取りまとめるとともに、「跡地利用の推進(リーフレット)」、「跡地カルテ」の更新、支援事業関連情報の「ホームページコンテンツ」の更新を行った。

# イ 関係情報の整理

平成23年度までの大規模駐留軍用地跡地等利用推進費調査の実績及び平成26年度までの沖縄振興特別推進交付金(一括交付金)による跡地関係調査の実績を整理した。

# 第2章

跡地関係市町村の検討課題の把握等

# 第2章 跡地関係市町村の検討課題の把握等

# 2-1 市町村個別訪問の概要

# 1 目的

市町村個別訪問は、跡地利用に取り組む14市町村に対し、返還跡地等への取組状況、取組に際しての検討課題の把握及び沖縄総合事務局総務部跡地利用対策課に対する支援要望の有無等を直接ヒアリングし、それぞれの課題を把握するために実施するものである。

また、この結果は、アドバイザー等専門家の派遣等の必要性の検討や、「連絡会議」 及び「個別会議」でのテーマとして活用していくとともに、「推進懇談会」で報告を行 い、同懇談会の議論の材料としても活用していくこととしている。

# 2 訪問期間

第1回 平成26年5月19日(月)~6月6日(金) 第2回 平成26年11月17日(月)~12月1日(月)

# 2-2 第1回市町村個別訪問

# 1 ヒアリング内容

跡地利用に向けて現在の状況及び取組状況、課題及びその他関連事項について、市町村へのヒアリングを実施した。また、浦添市及び北谷町については、埋蔵文化財調査を担当する部署へのヒアリングも実施した。

なお、宜野湾市については、都合によりヒアリングを見合わせた。

# 2 実施日

平成26年5月19日(月)~6月6日(金)に以下のとおり実施した。

実施日	市町村	部署	対象施設・区域
5月19日 (月)	沖縄市	建設部 都市整備室(都市計画担当)	キャンプ瑞慶覧(ロウワー・プラザ住宅地区)
5月20日 (火)	伊江村	政策調整室	伊江島補助飛行場
5月21日	本部町	企画政策課 政策班	上本部飛行場
(水)	恩納村	企画課	恩納通信所
5月26日	国頭村	企画商工観光課	・北部訓練所 ・安波訓練所
(月)	東村	企画観光課	北部訓練場
5月27日 (火)	北中城村	・建設課 ・企画振興課	キャンプ瑞慶覧(ロウワー・プラザ住宅地区、 サウスプラザ(ジュリガマ)地区、アワセゴ ルフ場地区、喜舎場住宅地区)
5月28日	浦添市	・企画部 企画課 ・教育委員会 文化課	牧港補給地区
(水)	那覇市	総務部 平和交流男女参画 課那覇軍港総合対策室	那覇港湾施設
5月29日	金武町	基地跡地推進課	ギンバル訓練場
(木)	うるま市	企画部 基地対策課	・嘉手納弾薬庫地区(旧東恩納弾薬庫地区) ・旧東恩納弾薬庫(楚南地区)

実施日	市町村	部署	対象施設・区域
6月6日	北谷町	・総務部 企画財政課 ・教育委員会 社会教育課	・キャンプ桑江(北側地区、南側地区) ・陸軍貯油施設第1桑江タンク・ファーム ・キャンプ瑞慶覧(施設技術部地区、インダ ストリアル・コリドー地区)
(木)	読谷村	・建設経済部 跡地利用推 進課 ・建設経済部 都市計画課	<ul><li>・瀬名波通信施設</li><li>・楚辺通信所</li><li>・読谷補助飛行場(補助飛行場地区、大木地区、北地区、西地区)</li><li>・嘉手納弾薬庫地区(国道東地区)</li></ul>

# 3 ヒアリング結果

# (1) 各施設・区域の現状、取組状況及び課題等

市町村個別訪問において把握した各施設・区域の現状、取組状況及び課題等を整理した。

# (2) 市町村の要望等

市町村個別訪問において把握したアドバイザー派遣等への要望及び各種会議等の意 見交換又は講演テーマ等への要望を整理した。

# 2-3 第2回市町村個別訪問

# 1 ヒアリング内容

5月から6月にかけて実施した第1回市町村個別訪問以降の、跡地利用に向けた現状、取組状況、課題及びその他関連事項についてヒアリングを実施した。また、北谷町、読谷村、宜野湾市及び浦添市については、埋蔵文化財調査を担当する部署にもヒアリングを実施した。

なお、国頭村、伊江村及びうるま市については、第1回ヒアリング以降の跡地利用の 取組等の動きが少ないこと及び個別の支援を実施していることから、今回はヒアリング 対象外とした。

# 2 実施日

平成26年11月17日(月)~12月1日(月)に以下のとおり実施した。

実施日	市町村	部署	対象施設・区域	
11月17日	金武町	基地跡地推進課	ギンバル訓練場	
(月)	恩納村	企画課	恩納通信所	
11月19日	北中城村	・建設課 ・企画振興課	キャンプ瑞慶覧(ロウワー・プラザ住宅地区、 サウスプラザ (ジュリガマ) 地区、アワセゴ ルフ場地区、喜舎場住宅地区)	
(水)	北谷町	・総務部 企画財政課 ・教育委員会 社会教育課	・キャンプ桑江(北側地区、南側地区) ・陸軍貯油施設第1桑江タンク・ファーム ・キャンプ瑞慶覧(施設技術部地区、インダ ストリアル・コリドー地区)	
11月20日 (木)	読谷村	・建設経済部 跡地利用推 進課 ・建設経済部 都市計画課 ・教育委員会 文化振興課	<ul><li>・瀬名波通信施設</li><li>・楚辺通信所</li><li>・読谷補助飛行場(補助飛行場地区、大木地区、北地区、西地区)</li><li>・嘉手納弾薬庫地区(国道東地区)</li></ul>	
11月21日	本部町	企画政策課 政策班	上本部飛行場	
(金)	東村	企画観光課	北部訓練場	
11月25日 (火)	宜野湾市	・基地政策部 まち未来課 ・教育委員会 文化課	・普天間飛行場 ・キャンプ瑞慶覧(西普天間住宅地区、イン ダストリアル・コリドー地区)	
11月26日 (水)	那覇市	総務部 平和交流男女参画 課那覇軍港総合対策室	那覇港湾施設	

実施日	市町村	部署	対象施設・区域
12月1日	沖縄市	建設部 都市整備室(都市計画担当)	キャンプ瑞慶覧(ロウワー・プラザ住宅地区)
(月)	浦添市	・企画部 企画課 ・教育委員会 文化課	牧港補給地区

#### 3 ヒアリング結果

#### (1) 各対象施設・区域の第1回訪問時以降の状況等

各対象施設・区域の第1回訪問時以降の状況等(取組状況・課題等)を整理した。 なお、第1回個別訪問を実施していない宜野湾市については、現在の状況及び取組状況、課題及びその他関連事項についてヒアリングを行った。

#### (2) 市町村の要望等

市町村個別訪問において把握したアドバイザー等専門家の派遣等及び提供してもらいたい情報等の要望等を整理した。

第3章

駐留軍用地跡地利用推進懇談会

## 第3章 駐留軍用地跡地利用推進懇談会

## 3-1 駐留軍用地跡地利用推進懇談会の概要

#### 1 目的

推進懇談会は、施設・区域毎に異なる課題に適切に対応し、また、跡地関係市町村の 取組における検討課題について、跡地利用に詳しい学識経験者や有識者で議論していた だき、跡地利用行政の参考に資することを目的として開催した。

#### 2 開催内容

#### (1) 第1回

開催日:平成26年11月7日(金)場 所:あやかりの杜(北中城村)議 題:(以下のア〜ウを参照)

ア 上半期の取組について (報告)

イ キャンプ瑞慶覧(西普天間住宅地区)の状況について(報告)

ウ 今後の市町村支援事業の新たな取組について(意見交換)

・今後の跡地利用における土地の集約と計画的土地利用について

#### (2) 第2回

開催日:平成27年3月2日(月)

場 所:沖縄総合事務局 特別会議室(6階)

議 題:(以下のア〜ウを参照)

ア 下半期の取組について(報告)

イ キャンプ瑞慶覧(西普天間住宅地区)の状況について(報告)

ウ 今後の跡地利用における土地の集約と計画的土地利用について(意見交換)



## 3-2 第1回駐留軍用地跡地利用推進懇談会

#### 1 開催日

平成26年11月7日(金)

#### 2 開催場所

あやかりの杜(北中城村)

#### 3 出席者

#### 【推進懇談会委員】

荒田 厚 ㈱日本都市総合研究所 代表取締役

大澤 真㈱フィーモ 代表取締役堤 純一郎琉球大学工学部 教授

中本 清 沖縄県建築設計サポートセンター 理事長

西 建吾 日本測地設計㈱ 特別顧問 新田 進 那覇新都心㈱ 代表取締役社長

(五十音順 敬称略)

#### 4 議題

- (1) 上半期の取組について(報告)
- (2) キャンプ瑞慶覧(西普天間住宅地区)の状況について(報告)
- (3) 今後の市町村支援事業の新たな取組について(意見交換)
  - ・今後の跡地利用における土地の集約と計画的土地利用について

## 3-3 第2回駐留軍用地跡地利用推進懇談会

#### 1 開催日

平成27年3月2日(月)

#### 2 開催場所

沖縄総合事務局 特別会議室 (6階)

#### 3 出席者

#### 【推進懇談会委員】

荒田 厚 ㈱日本都市総合研究所 代表取締役

大澤 真 ㈱フィーモ 代表取締役

阪井 暖子 Planning & Produce Studio SAI 代表

堤 純一郎 琉球大学工学部 教授

中本 清 沖縄県建築設計サポートセンター 理事長

 西
 建吾
 日本測地設計㈱ 特別顧問

 新田
 進
 那覇新都心㈱ 代表取締役社長

(五十音順 敬称略)

#### 4 議題

- (1) 下半期の取組について (報告)
- (2) キャンプ瑞慶覧(西普天間住宅地区)の状況について(報告)
- (3) 今後の跡地利用における土地の集約と計画的土地利用ついて(意見交換)

## 第4章

跡地関係市町村連絡会議

## 第4章 跡地関係市町村連絡会議

## 4-1 跡地関係市町村連絡会議の概要

#### 1 目的

跡地関係市町村において跡地利用の実務に携わっている担当者を対象として、跡地利 用担当者間の連携強化を図り、必要な情報を提供するとともに、担当者のスキルアップ を図ることを目的として開催した。

#### 2 開催状況

#### (1) 開催形態

連絡会議は、跡地利用計画策定等に向けた情報提供を目的に、埋蔵文化財調査に関わる有識者による講演形式での情報提供及び意見交換を基本として開催した。

#### (2) テーマの設定

今後返還が予定されている返還跡地等において跡地利用を推進していく上で、埋蔵文化財調査は重要なプロセスであると同時に、跡地利用計画や事業の進捗においては重要な要素となってくることから、本年度の連絡会議では、埋蔵文化財調査を実施する上での留意点等についてテーマを設定した。

#### (3) 開催日及び開催場所

連絡会議は、本事業の実施行程を踏まえ、以下のとおり開催した。

平成 26 年 7 月 29 日 (火) 沖縄総合事務局 共用会議室AB

### 4-2 跡地関係市町村連絡会議

#### 1 実施概要

#### (1) 開催日及び開催場所

開催日: 平成 26 年 7 月 29 日 (火)

場 所:沖縄総合事務局 共用会議室AB

#### (2) 出席市町村

伊江村(政策調整室)、名護市(文化課)、恩納村(教育委員会)、金武町(社会教育課)、うるま市(基地対策課・文化課)、読谷村(跡地利用推進課・都市計画課・文化振興課)、北谷町(企画財政課・社会教育課)、沖縄市(都市整備室)、北中城村(企画振興課・生涯学習課)、宜野湾市(まち未来課・文化課)、浦添市(企画課・文化課)、那覇市(平和交流・男女参画課兼那覇軍港総合対策室・文化財課)、渡名喜村(教育委員会)

#### (3) 開催趣旨

沖縄県内では先の戦争により多くの文化財が失われたことなどから、文化財についてはその定義を含めて国内の他地域とは異なる状況となっており、調査・研究は非常に重要なものとなっている。

今後返還が予定されている返還跡地等において跡地利用を推進していく上でも、埋蔵 文化財調査は重要なプロセスであると同時に、跡地利用計画や事業の進捗においては重 要な要素となってくる。

そこで、「埋蔵文化財調査の円滑な実施について」をテーマに、円滑な跡地利用への 取組の推進と、貴重な文化財の調査・保護を両立させるため、埋蔵文化財調査を実施す る上での留意点等について、今後の跡地利用における円滑な事業化への一助となるよう、 埋蔵文化財調査の実務を担当してきた経験者等による情報提供等行うため、講演会を開催した。

#### 2 内容

#### (1) 講演1

#### ア 講師

文化庁 文化財部 記念物課 埋蔵文化財部門 主任文化財調査官 禰冝田 佳男 氏

#### イ 演題

埋蔵文化財調査の円滑な実施とその成果の 活用について



#### ウ 講演概要

- ・開発事業の早期把握
- ・記録保存調査を実施する場合
- ・埋蔵文化財の活用
- ・東日本大震災の復興に伴う埋蔵文化財調査から学ぶこと
- ・跡地利用への提言

#### (2) 講演 2

#### ア 講師

沖縄県 教育庁 文化財課 記念物班 班 長 金城 亀信 氏 主任専門員 知念 隆博 氏

#### イ 演題

沖縄県における埋蔵文化財発掘調査の現状と 課題



#### ウ 講演概要

- ・在沖米軍基地内における埋蔵文化財の調査の動向
- ・ 従来の埋蔵文化財の調査の時期
- ・返還実施計画に係る埋蔵文化財本調査の時期

- ・ 支障除去に係る埋蔵文化財調査
- ・普天間飛行場跡地利用促進に係る県と市の試掘調査と範囲確認調査の計画(案)
- ・沖縄県における発掘調査件数
- ・調査対象となった遺跡の種類
- ・専門職員の人数の推移
- ・開発に伴う発掘調査の流れ
- ・沖縄県の特殊性
- ・跡地内における埋蔵文化財調査
- ・埋蔵文化財調査の課題

#### 3 《参考》跡地関係市町村連絡会議に対するアンケート結果

跡地関係市町村連絡会議に対する出席者の意見・要望等を把握するため、全出席者に対してアンケートを実施した。

第5章

跡地関係市町村個別会議

## 第5章 跡地関係市町村個別会議

## 5-1 跡地関係市町村個別会議の概要

#### 1 目的

跡地関係市町村個別会議は、跡地利用の手法が類似する跡地関係市町村を対象とし、各市町村の跡地利用に対する取組状況の報告及び意見交換を中心に行い、より具体的、深掘りした情報の共有を図ることを目的として開催した。

#### 2 開催状況

#### (1) 開催形態

跡地関係市町村個別会議は、跡地利用に向けた情報を共有するために、跡地関係市町村を嘉手納飛行場より南の区域と北の区域に分け、それぞれの区域に関連するテーマを設定し、各跡地関係市町村の取組状況及び課題等について意見交換を行った。また、意見交換に先立ち、専門家を講師に招聘し、講演形式で情報提供も行った。

#### (2) テーマの設定

跡地関係市町村個別会議のテーマは、本事業で別途に取り組む「跡地関係市町村の検 討課題の把握等」や、会議毎に実施するアンケート結果を踏まえて設定した。

1回目は平成25年4月に発表された統合計画で返還時期等が示された、嘉手納飛行場より南の区域に所在する施設を抱える跡地関係市町村を対象に、「跡地利用における公共用地の取得及び先行取得の実施方策について」をテーマに設定した。

2回目は、嘉手納飛行場より北の区域に所在する跡地関係市町村を対象に、「都市的利用以外の跡地利用について」をテーマに設定した。

#### (3) 開催日及び開催場所

跡地関係市町村個別会議は、本事業の実施行程を踏まえ、以下のとおり2回に分けて 開催した。

第1回 平成26年10月29日(水) 沖縄総合事務局 共用会議室AB

第2回 平成27年2月4日(水) 名護市21世紀の森体育館 会議室1・2

## 5-2 第1回跡地関係市町村個別会議

#### 1 実施概要

#### (1) 開催日及び開催場所

開催日: 平成 26 年 10 月 29 日 (水)

場 所:沖縄総合事務局 共用会議室AB

#### (2) 出席市町村

本部町(企画政策課)、北谷町(企画財政課)、沖縄市(都市整備室)、北中城村(建設課・企画振興課)、宜野湾市(まち未来課)、浦添市(企画課・教育委員会文化課)、那覇市(平和交流・男女参画課兼那覇軍港総合対策室)

#### (3) 開催趣旨

平成 25 年 4 月に発表された統合計画で返還時期等が示された嘉手納飛行場より南の施設においては、民有地の割合が多く、跡地利用計画を策定していく上で、公共用地の確保が課題となる。

跡地利用特措法に位置付けられた公共用地の先行取得について、既に先行取得を実施している跡地関係市町村等からの情報提供は、今後、用地取得を予定している市町村にとって貴重な参考例となることから、宜野湾市及び北谷町等から先行取得の取組状況等を報告してもらうことで事例等情報を共有し、今後の取組への参考とすることを目的とした意見交換を実施した。

なお、意見交換に先立ち、跡地利用特措法の先行取得制度の概要説明及び土地区画整理事業における集約化の事例、土地の評価、先行取得の必要性等をテーマにした有識者による講演も実施した。

#### 2 内容

#### (1) 先行取得制度の概要説明

#### ア 説明者

内閣府沖縄総合事務局総務部跡地利用対策課 課長補佐 田仲 康範

#### イ テーマ

跡地利用特措法における先行取得制度について

#### ウ説明内容

平成24年4月に施行された、「沖縄県における駐留軍用地跡地の有効かつ適切な利用の推進に関する特別措置法(跡地利用特措法)」における先行取得制度について、説明を行った。

#### (2) 講演

#### ア 講師

日本測地設計株式会社 特別顧問 西 建吾 氏

#### イ 演題

事業手法の仕組み (街路事業・土地区画整理事業)



#### ウ 講演概要

- ・まちづくりの代表的な2つの手法
- ・区画整理とは
- ・土地区画整理事業の仕組み
- ・ 用地買収事業の特徴
- ・土地区画整理事業の特徴
- ・用地買収事業と土地区画整理事業の比較
- ・土地区画整理事業の仕組み(仕組みの概念)
- ・申し出換地のイメージ
- ・先行買収区画整理の事例紹介
- 土地区画整理事業の成立要件

#### (3) 意見交換

#### ア テーマ

公共用地の先行取得について



#### イ 意見交換の目的

平成 25 年 4 月に発表された統合計画で返還時期等が示された嘉手納飛行場より南の施設では民有地の割合が多く、跡地利用計画を策定していく上で公共用地の確保が課題となる。

また、既に公共用地の先行取得を実施している宜野湾市及び北谷町等の情報は、これから先行取得の実施を予定している市町村にとって貴重な参考例になることから、関係市町村及び県の担当者による取組状況や今後の予定、課題などについての意見交換を行うことで、今後の跡地等における事業化への取組の参考とすることを目的として開催した。

#### ウ 意見交換の概要

- ・ 先行取得の取組状況
- ・取得価格の調査
- ・「特定事業の見通し」における先行取得の考え方
- ・今後先行取得を予定している市町村の状況
- ・先行取得した土地の取り扱いと軍用地料の扱い
- ・返還後の補償金及び給付金等の扱い
- ・先行取得を実施する上での課題等
- ・地権者への情報発信について

#### 3 《参考》跡地関係市町村個別会議に対するアンケート結果

跡地関係市町村個別会議に対する出席者の意見・要望等を把握するため、全出席者に 対してアンケートを実施した。

## 5-3 第2回跡地関係市町村個別会議

#### 1 実施概要

#### (1) 開催時及び場所

開催日:平成27年2月4日(水)

場 所:名護市21世紀の森体育館 会議室1・2

#### (2) 出席市町村

国頭村(企画商工観光課)、東村(企画観光課)、伊江村(政策調整室)、本部町(企画政策課)、恩納村(企画課)、北中城村(建設課)、浦添市(企画課)

#### (3) 開催趣旨

嘉手納飛行場より北の区域においては、土地区画整理事業等による都市的な基盤整備の手法が難しく、農的利用と観光的利用を組み合わせた跡地利用の手法の検討が必要となることも想定されるが、すべての区域が農的又は観光的利用を想定することにより、競合等によって実現が困難又は区域の特色が出せないことも考えられることから、地域の特色を活かした地域おこしの事例、地域資源を活かしたまちづくりの事例及び6次産業化の可能性等について情報提供を行い、跡地における6次産業化のキーポイント等について意見交換を実施した。

なお、意見交換に先立ち、農と緑を活かした跡地利用をテーマに、有識者による講演を実施した。

#### 2 内容

#### (1) 講演

#### ア 講師

株式会社 まちづくり工房 代表取締役 大橋 南海子 氏



#### イ 演題

農と緑を活かした跡地利用「都市と農・緑の共生」

#### ウ 講演概要

- ・農と緑を活かした跡地利用
- ・都市と農・みどりを取り巻く課題
- ・6 次産業化の施策と事例
- 都市型農の拠点地区の機能
- ・神奈川県立花と緑のふれあいセンター花菜ガーデン
- · JA あぐりタウンげんきの郷
- あぐりん村
- ・あけぼの山農業公園
- 神戸ワイナリー
- ・横浜みどりアップ計画
- ・知床の保全活動
- ・長峰の森・市民等協働の保全管理活動
- ・NPO法人たがやすの活動
- ・「農と緑」の市民活動ネットワークとプラットフォーム形成
- ・東京都の事例

#### (2) 意見交換

#### ア 進行役

株式会社 フィーモ 代表取締役 大澤 真 氏 (駐留軍用地跡地利用推進懇談会委員)

#### イ テーマ

基地跡地における6次産業化の推進

#### ウ 意見交換の目的

嘉手納飛行場より北の区域においては、地域の特色や地域資源を活かした土地利用を検討していることが多いため、都市的利用以外の跡地利用の参考となる事例等を紹介し、跡地における産業化等について意見交換を行い、情報を共有することで、今後の跡地利用へ取組の参考とすることを目的として開催した。

#### エ 意見交換の概要

- 参考事例の紹介
- ・本部町からの事例報告
- ・沖縄県の可能性
- ・各市町村の取組状況 (意見交換)



#### 3 《参考》跡地関係市町村個別会議に対するアンケート結果

跡地関係市町村個別会議に対する出席者の意見・要望等を把握するため、全出席者に対してアンケートを実施した。

# 第6章 アドバイザー等専門家の派遣等

## 第6章 アドバイザー等専門家の派遣等

## 6-1 専門家派遣の概要

市町村の要請に基づき、駐留軍用地跡地利用の支援を図るため、アドバイザー等専門家を派遣した。

派遣実績は、以下のとおり。

#### 1 アドバイザー派遣実績

宜野湾市から要請を受け、アドバイザーを派遣した。

派遣先	実施日	所属・氏名	目的
宜野湾市	平成 26 年 7月 15 日		普天間飛行場跡地利用計画を策定する上で、宜野湾市特有の雨水地下浸透水を保全・活用したまちづくりが重要となることから、地権者等に対して、宜野湾市の自然環境について情報提供を行う。

#### 2 コンサルタント派遣実績

北谷町から要請を受け、コンサルタントを派遣した。

派遣先	実施日	派遣コンサルタント	目的
北谷町	平成 26 年 10 月 7 日~ 平成 27 年 2 月 20 日	有限会社 MUI景画	北谷グスクの国史跡指定・保存整 備に向けて、国史跡指定にに関する 基礎条件の調査・資料整理等を行う。

#### 3 プロジェクト・マネージャー派遣実績

宜野湾市から要請を受け、プロジェクト・マネージャーを派遣した。

派遣先	期間	氏名	目的
宜野湾市	平成 26 年 5 月 1 日~ 平成 27 年 3 月 26 日	キャンプ瑞慶覧(西普天間住宅地区)の跡地利用計画策定に関する対外的な調整及び地主会対応を含む地権者の合意形成等への助言等を行う。	
	平成 26 年 5 月 15 日~ 平成 27 年 3 月 26 日	古波蔵 健 氏	キャンプ瑞慶覧(西普天間住宅地区)への機能導入の可能性等についての検討・調査等を行う。

## 6-2 アドバイザー派遣

#### 1 宜野湾市への派遣

#### (1) 宜野湾市からの要請内容

宜野湾市では、地権者及び市民の合意形成活動の中核組織である「若手の会」、「ねたてのまちベースミーティング」が中心となって「夢のあるまちづくり」を目標に、跡地利用計画策定に向けた取組を行っており、同跡地利用計画を策定する上で、各種専門家を招いて、様々な意見を伺いながら自分たちの望むまちづくりを目指すために、アドバイザー派遣を要請する。

#### (2) アドバイザー

株式会社 沖縄環境経済研究所 代表取締役社長 上原 辰夫 氏

#### (3) 派遣日

平成 26 年 7 月 15 日 (火)

#### (4) 講演概要

・宜野湾市の自然環境について



## 6-3 コンサルタント派遣

#### 1 北谷町への派遣

#### (1) 北谷町からの要請内容

北谷町では、嘉手納飛行場より南の大規模な駐留軍用地の返還が予定される中、キャンプ瑞慶覧(施設技術部地区)内に所在する北谷グスクを始めとする自然、文化財の保全に努め、基地跡地と町内都市機能との融合を図り、特色ある魅力的なまちづくりを行うことは、これからの駐留軍用地の跡地利用を考える上で、非常に重要な課題となっている。

このような中、北谷グスクの国史跡指定に取り組んでいるが、その他にも多数の事業を抱えており、北谷グスク専属で対応することが困難な状況であることから、グスクの専門的ノウハウを有する人材をコンサルタントとして迎えて、国史跡指定に関する基礎条件を調査・整理し、今後の国史跡指定に向けた取組や保存整備を進めていくためにコンサルタント派遣を要請する。

#### (2) 派遣コンサルタント

有限会社 MUI景画

#### (3) 派遣期間

平成 26 年 10 月 7 日~平成 27 年 2 月 20 日

#### (4) 派遣概要

北谷グスクの国史跡指定に向け、周辺を含めた大きな視点から歴史的意義を検討するため、周辺調査及び資料整理、調査指導委員会資料及び議事録の作成、今後の課題等を整理して、報告書を作成した。

## 6-4 プロジェクト・マネージャー派遣

#### 1 宜野湾市への派遣

#### (1) 宜野湾市からの要請内容

キャンプ瑞慶覧(西普天間住宅地区)は、平成25年4月の「沖縄における在日米軍施設・区域に関する統合計画」において、平成27年3月末に約51haが返還される予定であるが、返還予定地区のうち約21haを斜面緑地が占めており、利活用の方法について検討する必要がある。

当該地区の返還を間近に控え、地権者の合意形成や公共用地の先行取得を早急に進める必要があることから、跡地利用に対する専門的知識を持つプロジェクト・マネージャーの派遣を要請し、以下の課題等について意見をいただきながら取り組んでいきたい。

- ・約4割の斜面緑地の利活用の手法や開発方法について
- ・返還を間近に控え、地権者の合意形成を円滑に進める手法等ついて
- ・ 嘉手納以南の返還予定地区の先行モデル地区と位置付けられていることから、様々な機能導入の可能性等について
- ・その他、当該地区のまちづくりに関する総合的な意見について

#### (2) 派遣先

宜野湾市

#### (3) 派遣者名

高嶺 晃 氏 古波蔵 健 氏

#### (4) 派遣期間

(高嶺氏) 平成 26 年 5 月 1 日~平成 27 年 3 月 26 日 (古波蔵氏) 平成 26 年 5 月 15 日~平成 27 年 3 月 26 日

#### 2 派遣概要

平成 27 年 3 月末に返還が予定されているキャンプ瑞慶覧(西普天間住宅地区)に関して、派遣先である宜野湾市役所内各部局との調整、跡地利用実現に向けた沖縄県などの関係機関や地主会等との対外的な各種調整、跡地利用計画及び地権者合意形成への助言等を行った。

# 第7章 その他の支援事業

## 第7章 その他の支援事業

## 7-1 広報普及活動

#### 1 跡地利用の推進(リーフレット)の更新

跡地利用の実現に向けた取組を広く周知するため、「跡地利用の推進 (リーフレット)」 を更新した。

#### 2 跡地カルテの更新

平成12年度から作成されている「跡地カルテ」を更新した。 「跡地カルテ」は14市町村を個別訪問し、そのヒアリング結果を基に更新した。

#### 3 関係機関への情報提供

平成 26 年度に行った「推進懇談会」や「連絡会議」及び「個別会議」の各活動の他、アドバイザー、プロジェクト・マネージャー等の専門家派遣状況、「跡地カルテ」といった情報を、沖縄総合事務局跡地利用対策課のホームページ (http://atochi.ogb.go.jp/)にて公開するため、「ホームページコンテンツ」を更新した。

## 7-2 関係情報の整理

駐留軍用地の跡地利用に関係する既存の報告書・関係資料等として、大規模駐留軍用 地跡地等利用推進費調査等の実績を整理した。

また、平成 24 年度からは沖縄振興特別推進交付金(一括交付金)による跡地関係調査の実績を整理した。

第8章 平成26年度のまとめ

## 第8章 平成26年度のまとめ

#### まとめ

#### 1 跡地関係市町村の検討課題の把握等

跡地関係市町村へ各2回個別訪問し、跡地利用の取組状況や現時点の課題等についての意見交換を行い、課題の把握を行った。意見交換を通した情報共有により、連絡会議等各種会議やアドバイザー等専門家派遣による課題解消への取組を行った。

本事業の的確な実施と、柔軟な各種支援策の検討を継続していくためにも、跡地関係 市町村の取組における検討課題の把握を今後も実施するとともに、把握した内容を「跡 地カルテ」に取りまとめることが重要となる。

#### 2 駐留軍用地跡地利用推進懇談会

推進懇談会は、各返還跡地等での異なる課題への適切な対応、また、跡地関係市町村 の抱える課題等について議論し、意見をいただき、跡地利用行政の参考に資することを 目的として2回開催した。

その中で、市町村個別訪問において把握した各市町村の跡地利用を推進する上での課題を受け、今後の市町村支援事業の新たな取組「今後の跡地利用における土地の集約を計画的土地利用」について、2回にわたり意見交換を行った。

今後の跡地利用は、一定規模の土地を集約し、企業等による大規模施設の誘致を行い、他の返還跡地等と差別化が図れるような跡地利用計画の検討が特に重要になると考えられる。土地を集約するためには、跡地関係市町村担当者が跡地利用計画策定段階から、地権者に対して土地の集約の必要性を周知し、集約するための手法や計画的土地利用のルールをアドバイスし、地権者を土地の集約へと誘導していくことが必要となってくる。どうすれば地権者をうまく土地の集約へと誘導できるか、集約した土地をどう企業等にPRし、企業を誘致していけるか、その手法等について議論を行った。

#### 3 跡地関係市町村連絡会議

連絡会議は、米軍施設・区域が所在する 21 市町村の跡地利用の実務に携わっている 担当者を対象として、1回開催した。

テーマは「埋蔵文化財調査の円滑な実施について」とし、今後返還が予定されている 返還跡地等において跡地利用を推進していく上でも、埋蔵文化財調査は重要なプロセス であると同時に、跡地利用計画や事業の進捗においては重要な要素となってくることか ら、円滑な跡地利用への取組の推進と貴重な文化財の調査・保護を両立させるための取 組として、埋蔵文化財調査を実施する上での留意点等について、埋蔵文化財調査の実務 を担当してきた経験者等による、講演形式で情報提供を行った。

#### 4 跡地関係市町村個別会議

個別会議は、跡地利用の手法が類似する跡地関係市町村を対象に、各市町村の跡地利用に対する取組状況の報告及び意見交換を中心に行い、より具体的、深掘りした情報の共有を図ることを目的に2回開催した。

1回目は、平成25年4月に発表された統合計画で返還予定時期等が示された、嘉手納飛行場より南の施設を有する跡地関係市町村を対象に開催した。跡地利用計画を策定していく上で、公共用地の確保が課題となっており、公共用地の取得を予定している跡地関係市町村においては、既に公共用地の先行取得を実施している跡地関係市町村からの情報提供は、今後の用地取得を行う際の参考となることから、跡地利用特措法に基づく先行取得の取組状況及び予定等を報告するとともに、今後の跡地等における事業化への取組の参考することを目的に意見交換を行った。

なお、意見交換に先立ち、跡地利用特措法の先行取得制度の概要等について説明する とともに、「事業手法の仕組み (街路事業・土地区画整理事業)」をテーマに、土地区画 整理事業における土地の集約化の事例、土地の評価、先行取得の必要性等について、有 識者による講演会形式で情報提供を行った。

2 回目は、嘉手納飛行場より北の区域の跡地関係市町村を対象に開催した。跡地利用は必ずしも都市的利用とは限らず、農的利用や観光的利用を組み合わせた手法の検討が必要となることも想定されることから、6 次産業化の事例や 6 次産業化のポイント等について参考事例等の情報提供をするとともに、跡地利用の取組状況等の情報を共有することを目的に意見交換を行った。

なお、意見交換に先立ち、「農と緑を活かした跡地利用(都市と農・緑の共生)」をテーマに、農と緑を活かした土地利用の事例等について、有識者による講演会形式で情報提供を行った。

いずれも、跡地関係市町村の要望や今年度必要と思われた事項をテーマとしており、 今後も、跡地関係市町村担当者のニーズに対応したテーマを取り上げていくことが必要 である。

#### 5 アドバイザー等専門家の派遣等

#### (1) アドバイザー派遣

アドバイザーは、官野湾市へ1回派遣した。

宜野湾市への派遣は、地権者及び市民の合意形成活動の中核組織である「若手の会」、「ねたてのまちベースミーティング」が中心となって開催した勉強会へアドバイザーを派遣し、普天間飛行場の跡地利用計画を策定する上で重要となる、雨水地下浸透水を保全・活用した自然環境を取り入れたまちづくりについて、情報提供を行った。

アドバイザー派遣は、今後も継続することが重要であり、かつ、アドバイザーの指導・助言は、他の跡地関係市町村へも情報として発信することが重要である。

#### (2) コンサルタント派遣

コンサルタントは、北谷町へ派遣した。

北谷町への派遣は、嘉手納以南の大規模な駐留軍用地の返還が予定される中、キャンプ瑞慶覧(施設技術部)内に所在する北谷グスクを始めとする自然、文化財の保全に努め、基地跡地と町内都市機能との融合を図り、特色ある魅力的なまちづくりを行うことは、これからの駐留軍用地の跡地利用を考える上で非常に重要な課題となっており、その具体策として北谷グスクの国史跡指定に取り組んでいるが、多数の事業を抱え、北谷グスク専属で対応することが困難な状況であることから、今後の国史跡指定に向けた取組や保存整備を進めていくためにグスクの専門的ノウハウを有するコンサルタントを派遣し、国史跡指定に関する基礎条件の調査・整理等を行った。

コンサルタント派遣は、跡地関係市町村が行う跡地利用計画の事業化の前に基本的な調査等を実施することにより、跡地利用計画が推進されることから、今後も継続することが重要である。

#### (3) プロジェクト・マネージャー派遣

プロジェクト・マネージャーは、宜野湾市へ2名派遣した。

宜野湾市への派遣は、平成27年3月末に返還が予定されているキャンプ瑞慶覧(西普天間住宅地区)の跡地利用実現に向けた関係機関や地主会等との対外的な各種調整、跡地利用計画及び地権者合意形成への助言等を行うことを目的に、宜野湾市からの要請により派遣した。

#### 6 その他の支援事業

#### 関係情報の整理と広報普及活動

跡地利用に関する情報は、跡地間の連携や各地区状況の共有化の面で重要であることから、今後も日常的な情報収集と整理を進めるとともに、広報普及活動を行うものとする。